

第7期・第6回米沢市介護保険運営協議会議事録（除 事務局説明）

日 時	令和2年3月24日（火）午後1：30～午後2：30
会 場	米沢市役所 6階大会議室
出席委員	14名（加藤守匡、鈴木 藤雄、渡部 宏一、石田しづ子、草苺 美紀、 宍戸 千香子、田島 美佐子、長岡 信浩、長沼 勇作、二瓶 久志、山口 孝一、五十嵐 勝、木村 幸子、情野 薫）
欠席委員	1名（仁科盛之）
事務局	税務課長補佐、納税課長補佐、社会福祉課長、高齢福祉課長、高齢福祉 課長補佐、高齢福祉課長補佐兼地域包括支援係長、介護認定給付係長、 高齢者福祉係長、事業管理係長、南波主任、我妻主任
傍聴者	なし

1 開会

【事務局】 これより、第6回米沢市介護保険運営協議会を開会いたします。本日は委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

なお、本日の会議は、仁科盛行（にしな もりゆき）委員より欠席のご連絡を受けておりますが、米沢市介護保険運営協議会条例第7条第2項の規定に基づいて、委員等の半数以上が参加されておりますことから、本協議会が有効であることを報告します。
それでは会長よりご挨拶をいただきます。

【会長】 皆様こんにちは。今年度6回目の介護保険運営協議会になります。本日は新型コロナウイルスにより大変な状況の中お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は私が進行を務めさせていただきます。皆様の忌憚の無いご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございました。米沢市介護保険運営協議会条例第7条第1項の規定によりまして、会長が会議の議長となることとされております。会議の進行につきましては、加藤会長にお願いいたします。

【会長】 はい、協議会条例に基づきまして、議長を務めさせていただきます。協議・報告に先立ちまして、米沢市情報公開条例の規定に基づき、会議及び議事録の公開について確認いたします。事務局に確認しますが本日の協議・報告について、非公開とすべき案件はありますか？

ありません。

【事務局】 ただいま事務局から、非公開とすべき案件はないとありましたので、

【会長】 本日の会議につきましては会議・議事録ともに公開としてもよろしいでしょうか。

はい。

【委員】

ありがとうございます。会議が円滑に進みますよう皆さまのご協力を

【会長】 お願いいたします。また、活発な意見をいただければと思います。それでは、次第に従って進めたいと思います。

2 報告

(1) 令和2年度介護保険事業勘定特別会計予算(案)について

【会長】 報告(1)「令和2年度介護保険事業勘定特別会計予算(案)について」、事務局説明をお願いします。

【事務局】 《事務局説明省略》

【会長】 ただいまの件について、何かご意見等はございますか。
無いようでしたら次に移ります。

(2) 第7期介護保険事業計画の進捗状況について

【会長】 報告(2)「第7期介護保険事業計画の進捗状況について」、事務局説明をお願いします。

【事務局】 《事務局説明省略》

【会長】 ただいまの件について、何かご意見はございますか。

【委員】 実施事業について質問します。現在、人が集まる事業を行う事が難しい状況かと思えます。ここ1、2か月の間で事業の延期や中止が相次いでおり、4月以降も同じ状況は続くかと思えます。これについて、把握されていることがあれば教えてください。

【事務局】 市の事業として実施している「いきいきデイサービス」や「生きがいと創造の事業」については、今現在は中止しているところです。資料2でも説明いたしました「住民主体の通いの場」については、運営主体が住民の方々であることから、それぞれのグループの判断に委ねておりますが、実施しているグループが若干あるものの、大半が自粛されているという状況です。

【委員】 お年寄りの方が新型コロナウイルス感染によるリスクが高いということなので、そういった事業の実施は難しい状況かと思えます。ありがとうございます。

【会長】 他にございますか。無いようでしたら次に移ります。

(3) 令和元年度地域包括支援センター運営について

【会長】 続きまして、報告(3)「令和元年度地域包括支援センター運営について」について、事務局説明をお願いします。

【事務局】 《事務局説明省略》

【会長】 ただいまの件について、何かご意見等はございますか。

【委員】 介護予防教室について、その参加者が前年度と比べて大きく減少しているようです。減少の要因は何だと考えていますか。

【事務局】 1つは、お示した実績が1月末現在のものであるためです。もう1つは、昨年度と比較した際に傾向として顕著に表れていることですが、欠席者が多かったためです。欠席の理由も他の予定が入ったから等といった直前のキャンセルが多く、昨年と比べても、継続して出席されている方の割合が低いことが、参加者の減少の要因となっていると考えております。
なお、介護予防教室の3月開催予定だったものについては、全て中止となっております。

【会長】 他にございますか。無いようでしたら次に移ります。

3 協議

(1) 第8期介護保険事業計画に係る各種調査について

【会長】 協議事項(1)「第8期介護保険事業計画に係る各種調査について」、事務局説明をお願いします。

【事務局】 《事務局説明省略》

【会長】 ただいまの件について、何かご質問等ございますか。

【委員】 調査内容について要望を申し上げます。食べることに関する調査について、市独自の項目を追加もあり得ることですので、可能であれば今後、毎日の歯磨きの回数とタイミングについての項目を設けていただきたいと思います。その理由は、軽度認知症の方は特に、口腔ケアを行う事によって認知機能が回復すると言われており、プロフェッショナルケア以上にセルフケアとも言われ、最低でも歯磨きを行うべきで、その状況の把握が重要だと考えるためです。ご検討いただければと思います。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。今回の調査について、都合上ご意見をお伺いせずに実施したことを申し訳無く思っております。次回ご意見を参考にして、調査項目に載せたいと考えております。次回の調査に

ついて、実施時期等含め再検討させていただき、余裕をもった調査の実施に努めますので、よろしくお願いします。

【会長】 他にございますか。

【委員】 ニーズ調査における市の独自項目について、「除雪は誰がするか」以外の項目の、質問の意図を教えてください。

【事務局】 課内の専門職をはじめとする職員で考え「今聞いておきたいこと」として追加させていただいたものです。地域の独自性ということで除雪等については前回から追加させていただいているところですが、社会情勢の変化等を踏まえると、将来はSNSでの啓発等も考えられるため、スマートフォンの所持状況を把握しておいた方がいいという職員からの意見を反映したところです。

【会長】 他にございますか。
ひとつ私から質問させていただきます。必須調査とその他の調査について、国が指定した調査項目について調査結果を入力すると、それら全てについて見える化システムによる分析が行われるということでしょうか。

【事務局】 必須項目とオプション項目については、見える化システムに反映させることが可能です。市の独自の調査については、見える化システムを使うことができないため、調査結果を市が自身で分析する必要があります。

【会長】 見える化システムによる分析結果は、見せてもらうことはできるのでしょうか。

【事務局】 実施したものをお示しすることができると思います。よろしくお願いします。

【会長】 他にございますか。無いようでしたら次に移ります。

(2) 令和2年度地域包括支援センター運営（案）について

【会長】 協議事項(2)「令和2年度地域包括支援センター運営（案）について」、事務局説明をお願いします。

【事務局】 《事務局説明省略》

【会長】 ありがとうございます。ただいまの件について、何かご意見等はございますか。
無いようでしたら次に移ります。

(4) 地域密着型サービスの定員等の変更について

【会長】 協議事項(4)「地域密着型サービスの定員等の変更について」、事務局説明をお願いします。

【事務局】 《事務局説明省略》

【会長】 ありがとうございました。ただいまの件について、何かご意見等がありますか。
無いようでしたら次に移ります。

【会長】 協議事項(3)「地域密着型サービス等の指定及び指定更新について」、事務局説明をお願いします。

【事務局】 《事務局説明省略》

【会長】 ありがとうございました。ただいまの件について、何かご意見等がありますか。
無いようでしたら次に移ります。

4 その他

【会長】 次に「4 その他」に移りますが、事務局から何かございますか。

【事務局】 《事務局説明省略》

【会長】 皆様から他にございますか。

【委員】 地域密着型サービス事業所について、登録定員数の変更について制限等あるのでしょうか。

【事務局】 登録定員数については、基準上、最大で29名までと決められています。ただ、登録定員に対して一日あたりの通所できる方の数が、上限が決まっております。登録定員15名の場合の上限が15名によって変わります。登録定員を29名にすると、1日当たりの人数が18名まで利用することができるようになり、1日当たり通所できる方の数が増えるということになります。登録されている方については、通所、宿泊、訪問等を組み合わせて利用していますので、毎日通所することができないと。登録している29名の中で最大18名が通所できるということになります。登録定員を増やすことで生まれるメリットとしましては1日当たりの人数に対して追加で通所することができるということでございます。

【委員】 要するに通所と宿泊の人数を足して29名になるということではない

のですね。

【事務局】 そうですね。足して29名になるものではございません。

【会長】 ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。
ないようでしたら、これで議事の進行を終了したいと思います。事務局
お願いします。

【事務局】 委員の皆様、本日はお忙しいところ、会議に参加いただきありがとうございました。
また、加藤会長におかれましては、会議の進行役を務めていただきありがとうございました。
事務局からの連絡ですが、次回の会議は、6月に開催する予定です。
本日はお疲れ様でした。気を付けてお帰りください。